

地域伝統野菜「三豊ナス」の栽培準備が始まる

▼発生年月日：2024/3/7～3/8

▼執筆者名：高橋 孝明

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：野菜

▼活動分類：総括

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 西讃管内では、地域伝統野菜の「三豊ナス」の栽培が盛んで、生産者約 50 名が 3 ha ほど栽培しています。

2) 「三豊ナス」は、昭和初期に朝鮮半島から三豊地域の農家が持ち帰ったと言伝えられており、晩生であることや、果皮が軟らかく棚持ちが短いため、主に産直市での販売が中心であり、一部少量が市場に流通する程度でした。

このようななか、平成 22 年、地域の伝統野菜として「三豊ナス」の美味しさを後世に伝えていこうと、地元有志で「三豊ナス研究会」を発足したことをきっかけに、経済栽培が本格的に行われるようになりました。

3) 西讃農業普及センターでは、本年産の定植が 4 月下旬から始まるにあたり、土づくりと重要病害対策について栽培講習を行いました。

講習では、昨年に行った根の状況の調査結果を実物も交えて紹介したところ、生産者は実際に根の張り具合を見て、土づくりの重要性を実感していました。

また、重要な病害である「青枯病」、「半身萎凋病」については、接ぎ木苗の利用や綺麗な農業用水の確保、排水対策により根傷みをさせないことなど、防除対策のポイントを説明しました。

4) 出荷は 6 月上旬から始まる予定であり、県内を中心に関西や関東など県外にも出荷されることとなっています。

柔らかく美味しい「三豊ナス」を是非、味わっていただきたいと思います。



栽培状況

(大きなナスがたわわになっている)



出荷の様子

(翌朝、市場へ出荷されセリされる)

※写真は、今年の栽培、出荷の写真です。